

患者のライフステージに合わせたメンテナンスを考える — 歯科衛生士の視点からの臨床兆候の読み取り方 —

日時：令和4年8月28日(日)
場所：フクラシア八重洲、Web
講師：萬田 久美子先生



竹之内 大助(東京都)



令和4年8月28日(日)、フクラシア八重洲にて第2回特別研修会(DHセミナー)が参集とライブ配信によるハイブリッド方式で開催されました。

講師は、フリーランス歯科衛生士で、本年に書籍「歯周ポケット鑑別ガイド その病変は本当にペリオ？」を上梓され、YouTube「Dental Life Designチャンネル」でもご存じの萬田 久美子先生をお迎えして、「患者のライフステージに合わせたメンテナンスを考える — 歯科衛生士の視点からの臨床兆候の読み取り方 —」という内容でご講演いただきました。会場13名、オンライン105名が参加されました。

田中会長より挨拶をいただき、岩野特別研修会委員長の講師紹介の後に、萬田先生による講演となりました。

はじめに、萬田先生の歯科衛生士としての歩みや姿勢をお話していただきました。先生の医療人としての根幹には、「たとえ明日、自分がいなくなっても、人のために役立つ何かを残したい」ということがあるそうで、若かりし頃より国内外で研鑽を積み、現在様々な講演や執筆活動を精力的に行っているのは、そのような志からだそうです。卒後数年でそのような思いを持っていたと聞き感銘を受けました。そして、歯科衛生士は、幼少期から老年期に至るまで、

一人の患者のライフステージに応じたケアができる唯一無二の存在であり、担当する歯科衛生士の力量によって患者の口腔内の予後、ひいては健康寿命に影響を及ぼすことを忘れることなく診療に取り組むことの重要性を述べられました。①力 ②カリエス ③ペリオ ④生活背景 ⑤全身疾患 ⑥宿主の抵抗性を考慮した多角的視点からメンテナンスができるよう、日々のトレーニングが大事であることを教えていただきました。

その後、歯科衛生士がメンテナンス中に遭遇することの多い歯周ポケットの変化について、①歯内・歯周病変 ②セメント質剥離 ③歯根破折 を中心に解説していただきました。各病変の原因、歯周ポケットの形態、経時的な変化、エックス線所見、サイナストラクトが出現しやすい位置、治療法について等、臨床例を提示しながら一つ一つ詳細に説明していただき、鑑別しにくいこれらの病変に関して理解を深めることができました。各病変の解説の後には小テストを用意していただき、聴講者のアウトプットにも配慮する構成でした。

「知識は患者を救う」という先生の言葉を忘れず、研鑽を重ねることの重要性を強く感じる研修会となりました。